

CASBEE® 名古屋 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システム (2016年7月改訂) | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)名古屋市中区松原二丁目計画	階数	地上13F
建設地	名古屋市中区松原二丁目405番、406番、407番、414番、415番1、415番、2、416番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	108人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年5月10日
敷地面積	818㎡	作成者	
建築面積	377㎡	確認日	2023年6月14日
延床面積	4,237㎡	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

100% 100% 100%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

音環境 3.0, 温熱環境 3.1, 光・視環境 3.0, 空気質環境 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

機能性 3.0, 耐用性・信頼 3.0, 対応性・更新 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.0

生物環境 3.0, まちなみ・景観 3.0, 地域性・アメニティ 3.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

建物外皮の 3.0, 自然エネルギー 3.0, 設備システ 5.0, 効率的 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

水資源保護 3.0, 非再生材料の 3.2, 汚染物質回避 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

地球温暖化への配慮 3.0, 地域環境への配慮 3.0, 周辺環境への配慮 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<p>景観に合わせた彩度の低い落ち着いた色の外装としつつ、他のマンションとは違う存在感の個性を持ったエリア評価を上げるようなデザインとする。</p>		
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>複層ガラス採用による断熱性能の向上や高効率エアコンの採用により居住空間の快適性に配慮した。また、全面的にF☆☆☆☆の内装仕上げ材を使用することでシックハウスにも配慮した。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>維持管理方法の異なる床材を隣接させないことで清掃の容易さを図った。</p>	<h4>Q3 室外環境 (敷地内)</h4> <p>外壁はアースカラーを選定し、周囲との調和を図った。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>LED照明を選定し、省エネルギー性能を向上させた。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>節水型器具を採用し、水資源使用削減に努めた</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>敷地内での駐車・駐輪場の確保に努め、居住者の利便性に配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)名古屋市中区松原二丁目計画

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
- 評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策				3.7
LR1	エネルギー	4.0	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.0	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				2.9
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.1
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.2	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 3.7
2. 自然共生	評価点 = 2.9
3. 循環型社会	評価点 = 3.1

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。